

実効性ある交通事故防止対策の一助となるよう 国土交通省道路局に要望書を提出

日本損害保険協会（会長：城田 宏明）は、2024年11月27日に国土交通省道路局長宛に、交通事故の防止・軽減に関する要望書を提出しました。

交通事故は長い間、その件数が減少傾向にありましたが、昨年は増加に転じています。加えて、今年1～8月の交通事故によるこどもの死者数も昨年を上回るペースで増加しており、我が国の少子化が急激に進展する中で、子どもたちを不幸な事故から守ることは極めて重要です。

こどもが被害者となる事故を防止するためには、交通事故防止対策に子どもたちの目線を取り入れることも重要と考えられるため、当協会が推進する実践的な安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」の昨年度のコンクールに応募があった1,708作品のうち、交通安全に関する837作品に記載があった子どもたちの気づきを参考に、より実効性ある交通事故防止対策を推進いただくための一助となるよう、要望書を提出しました。

なお、要望書の概要は以下のとおりです。

要望項目	要望内容
1. 総合的かつ長期的な交通事故防止対策の推進	・ 第11次交通安全基本計画に掲げられた目標を達成できるよう、事故危険箇所における道路改良、交通安全施設の設置および通学路や生活道路におけるゾーン30プラスの設定などの交通事故防止対策を引き続き推進していただきたい。
2. 交通安全マップづくりに携わった小学生による道路環境の改善要望	・ こどもたちの声に配慮いただき、以下について推進していただきたい。 ①ガードレール、カーブミラー、街灯の設置 ②道路の穴、側溝の隙間など道路の保全 ③歩道の樹木の剪定、除草 ④標識の色落ち、ガードレールやカーブミラーの破損のメンテナンス

（参考）ぼうさい探検隊とは

子どもたちが楽しみながら自分たちのまちを探検し、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめるという実践的な安全教育プログラム（名称は「ぼうさい」ですが、防災だけでなく、交通安全や防犯も対象としています）。